

メタミドホスの概要について

- 用途：殺虫剤（有機リン系）
穀類、野菜、果実等に幅広く使用される。
- 国内登録の有無：
日本においてメタミドホスの農薬登録はなく、農薬取締法に基づき国内での使用は禁止される。
- 海外での基準設定状況：
Codex（国際機関）、米国、豪州、カナダ等多くの機関・諸国で基準が設定されている。
日本においては、ポジティブリスト制度導入に際して、Codex、米国、豪州、カナダ、EU、ニュージーランドにおける基準を参考に、米、野菜等の多くの作物について暫定基準が設定されている。
- 国内外での評価状況、一日摂取許容量（ADI）等：
 - （1）国内での評価
ADI（一日摂取許容量^{※1}）：0.0006 mg/kg 体重/日
※1 ADI（一日摂取許容量）：毎日一生食べ続けても健康に悪影響が生じないと推定される量。
（参考）ARfD（急性参照用量^{※2}）：0.003 mg/kg 体重/日
※2 ARfD（急性参照用量）：24 時間またはそれより短時間に経口摂取しても、健康に悪影響が生じないと推定される量。
 - （2）海外での評価
JMPR（国際機関） ADI：0.004 mg/kg 体重/日
米国 cRfD（慢性参照用量※）：0.0003 mg/kg 体重/日
※慢性参照用量とは、米国で ADI と同意で用いられる用語。
（参考）JMPR の評価によると、急性毒性試験（ラット、経口投与）における LD₅₀（半数致死量）は 16 mg/kg 体重であり、毒物及び劇物取締法における毒物に相当する。
- 中毒症状：
有機リン系農薬による中毒症状としては、コリンエステラーゼ活性阻害により、以下のような症状を呈します。
 - 【軽 症】倦怠感、違和感、頭痛、めまい、胸部圧迫感、不安感および軽度の運動失調などの非特異的症状、嘔気、嘔吐、唾液分泌過多、多量の発汗、下痢、腹痛、軽い縮瞳
 - 【中等症】（軽症の諸症状に加えて）縮瞳、筋線維性れん縮、歩行困難、言語障害、視力減退、徐脈

《最終更新：平成 20 年 8 月》

【重 症】 縮瞳、意識混濁、対光反射消失、全身けいれん、肺水腫、血圧上昇、失禁

- (註) ① 一旦臨床症状が軽快に向かい、再度悪化することがある。
② まれに後日、末梢神経障害が出現することがある。

(出典：「農薬中毒の症状と治療法」第 11 版 農薬工業会)

今回の事案だと、摂取後早期に症状が現れています。